

日本発ウィーン便り～”Weihnachtsmarkt:クリスマス市”

今年もあと一週間。クリスマス市については、また別の機会に…。と前々回、書いてしまったのですが、気がついたらクリスマスも終わろうとしているではないですか！

ドイツでは26日までがクリスマス！ということで、無理やりですが、「クリスマス市」についてお伝えしたいと思います。

ドイツの、いや、おそらくヨーロッパの街には、必ず大きな広場があります。それは、教会の前だったり、市庁舎の前だったり様々です。なんかあるときに人がなんとなく集まってくる。そんな雰囲気は広場にはありますね。普段は週末にのみの市が立ったり、待ち合わせ場所であったり、という場所ですが、アドヴェントの時期には、クリスマス市が立ちます。

「市が立つ」と聞いて思い浮かべるにはなんでしょう？市場？お祭りの屋台？

おそらくクリスマス市、というのは、上の2つを足して。でも扱っているのがすべてクリスマス関係のものである。という特色があります。

大きく分けて

- ・ クリスマスの装飾関係：ツリーの飾りとかです。手作りの木でできたオーナメント、ガラスでできた飾りなど
- ・ クリスマスプレゼント関係：説明するまでもないですね。こちらでは、プレゼントのラッピングは基本的に自分でするので、ラッピング材料やカードなどもここに入ります。
- ・ クリスマス関係の食品：ケーキやクッキーなど。先日紹介したシュトーレンやチョコレートなど。甘いものだけではなく、ハムやソーセージなどのアドヴェント期間中の食料品。
- ・ 来た人たちの飲食関係：グリューワインや焼きソーセージ、綿菓子や焼き栗、焼きじゃがいもなど。

という感じでしょうか？



これはおやつ系のお店。Strudelというのは、オーストリア名物のパイの一種です。

特にりんごをたっぷり入れた Apfelstrudel(アプフェルシュトゥルーデル)が有名。

パイ生地部分の薄いアップルパイを想像すると近いと思います。

そのまま食べてもいいですが、あっためてバニラソースをかけて食べるのもおいしいです！

ウィーンにお出かけの際は是非お試しを！



ツリーの飾りのお店。すべて手作りだったりするので、結構いいお値段です。
ツリーの飾りはシンプルなのが多いです。
こうやって毎年ひとつずつ、気に入った飾りを足していく、というのも良いと思いませんか？



グリューワインのお店の周りにはいつも人がいっぱいです。寒いときと暗くなった後は特に。
これはシェーンブルン宮殿のクリスマス市です。
お店の数などの規模からすると小さいですが、ちょっと特別な感じがします。



市庁舎前。ウィーンではここが「メイン会場」みたいなものでしょうか。



夜はまた違った趣です。ライトアップされてとっても綺麗です。
夜になると、明かりに引き寄せられるように、ぞくぞくと人が集まってきます。

ちなみにウィーンでは Christkindlmarkt (クリストキンドルマルクト: 幼子キリストの市) といいますが、地域によっても呼び方が異なるようです。ドイツで一番有名なニュルンベルクも Christkindlmarkt です。Weihnachtsmarkt(ヴァイナハツマルクト: クリスマス市) というのが一番一般的な呼び方でしょうね。

最近、クリスマス市をめぐるツアーが大流行で、もともとの閑散期だった 12 月上旬から中旬にかけて、日本からヨーロッパへの観光客がとて増えているそうですよ。
実際にクリスマス市に行って、買うものは少ないかもしれませんが、「クリスマス市」と聞くとなんだかわくわくしませんか？ 私も特に何をかうというわけではありませんが、この時期旅行できるときは、買い食いをしながら、クリスマス市をぶらぶら見て回るの、結構好きです。
航空券も一年の中では安い時期ですので、もし日程が合うのなら、是非一度お出かけください。もちろんご相談ください！

ところで、クリスマス市、クリスマスは 12 月 25 日ですが、24 日の午前中でお店は閉まっています。前回も書きましたが、24 日の午後からどこもお休みになります。どんなときでも開いているレストランでさえ、お休みのところが多く、開いているお店を探すのに苦労することになります。この 12 月 24 日・25 日の旅行だけは避けたほうがいいですね・・・。

以上クリスマス市でした！